

教員一人一人の授業力を磨く校内研修と授業研究

1 授業研究を中心とした校内研修

県内特別支援学校の校内研修は、授業研究を中心に据えて活発に行われています。校内研修の目的は、児童生徒をよりよく成長させるために教員の授業力を向上させ、授業改善を図ることです。更にその土台となる教育課程、教育活動を改善し、学校の教育力の向上を図ることです。

各校では、教員が主体的に取り組むよう、様々な工夫をしています。以下に、その共通点を挙げてみます。

- ① 「何のために研修を行うのか」を共通理解することからはじめている。
- ② 「全体研修テーマ」と「個々の課題」の二つの視点から研修を進めている。
- ③ 研修で得られた成果と課題を、日々の授業実践と結びつけている。

2 授業研究とは

○ 教員の専門的力を向上させるために、同僚と協働してお互いの授業を検討し合うことで、その改善を自ら図っていく方法です。

○ 教材研究(P)－研究授業(D)－授業反省会(C)－授業改善(A)から成り立っています。

3 校内研修のPDCAサイクルと授業研究

校内研修を主体的に進めるには、「どんな児童生徒を育てたいのか」「どんな授業を目指すのか」など、目標の共通理解が必要です。同時に、「自分の授業力のここを高めたい」という教員個々の目標も加えるとよいでしょう。また、明確な視点、提案性のある授業研究の過程に、授業者をはじめ全員が関わり、成果を共有することが大切です。

